

米、イラクに最後通告



17日、国民向けにテレビで演説するブッシュ米大統領

48時間以内の亡命要求

ブッシュ大統領が演説

【ワシントン十七日共同】ブッシュ米大統領は日本時間十八日午前十時、ホワイトハウスからテレビで演説し、フセイン・イラク大統領に四十八時間以内に亡命しなければ、攻撃を開始するとの最後通告を行った。

フセイン大統領が亡命する可能性は小さく、米国は

米東部時間十九日(日本時間二十日午前)にも、対イ

ラク戦争を開始する見通しだ。

ブッシュ米政権はフセイン政権の打倒とイラクに民主政権を樹立することを目標に掲げており、徹底抗戦の構えのフセイン政権との激しい戦闘が予想される。

大統領は演説で、イラクが大量破壊兵器を保有していることは明らかであると述べ、「平和的武装解除は失敗」と断言。

フセイン大統領とその息子も亡命しなければならないと述べた上で、米国は昨年十一月の国連安保理決議一四四一などでイラク攻撃の国際法的根拠を得ていると明言。イラク軍にフセイン政権から離反するよう求めた。